

FDG PET-CT 検査におけるデバイスレス呼吸同期法の有用性に関する研究

1. 研究の対象

2022年1月以降にMIクリニックでFDG PET-CT検査を受けた方のうち、主な病変が胸部あるいは上腹部にあり、シーメンス社製装置を用いて撮像された方。

2. 研究目的・方法

画像検査において体幹部の撮像を行う場合に、呼吸による動きが画質不良の原因となります。撮像時間が長いPET検査では、呼吸状態を監視して一定の呼吸タイミング（呼気時や吸気時など）で複数回データを収集し、画像を再構成する呼吸同期法がしばしば用いられています。MIクリニックのシーメンス社製PET装置では、撮像時の画像データから即時に呼吸状態を解析し、これを呼吸同期データ収集に用いることが可能な新たな機能が備わっています。体に器具やマーカーを付ける必要がないことから、デバイスレス呼吸同期法と呼ばれています。この呼吸同期法は撮像時間延長などの負担もないため今後普及が見込まれており、MIクリニックでも既に画像診断時の追加情報用画像の再構成に用いられています。

本研究では、デバイスレス呼吸同期法によって得られたPET画像を従来のPET画像と比較し、デバイスレス呼吸同期法が画像診断時にどのように役立っているのかを明らかにします。なお、PET-CT検査のCT部分では、息をとめて撮像することがあります。

研究期間は、研究機関の長の許可日から2024年3月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- 情報 ・ デバイスレス呼吸同期法によって得られたPET画像および通常のPET画像
- ・ がんの種類、部位、年齢、性別、身長、体重、FDG投与量等

本研究で使用する情報は、個人情報削除して匿名化された後、解析に用いられます。

4. 利益相反について

本研究の研究代表者が所属する教室は、本研究で使用するPET-CT検査機器等の製造販売会社であるシーメンスヘルスケア株式会社から、資金提供を受けて寄附講座を設置しています。

研究を行うときにその研究を行う組織あるいは個人（以下「研究者」という。）が特定の企業から研究費・資金などの提供を受けていると、その企業に有利となるように研究者が研究結果を改ざんあるいは解釈したり、また都合の悪い研究結果を無視するのではないかと疑いが生じます。（こうした状態を「利益相反」といいます。）

この研究における利益相反は、大阪大学大学院医学系研究科・医学部臨床研究利益相反審査委員会による審査を受け、承認を得ています。我々はその審査結果に基づき、利益相反を適正に管理して研究を行います。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪大学医学部附属病院放射線部 准教授 巽 光朗（研究責任者）

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2 Tel: 06-6879-3434

MI クリニック 院長 岡田篤哉

〒560-0004 大阪府豊中市少路 1-12-13 Tel: 06-6840-0100

※ご連絡の際には、お手数ですが、お名前と PET-CT 研究に関するお問い合わせであることをお知らせください。